

依然としてテレビ・ゲーム・携帯(スマートフォン)などの視聴、使用時間が長い!!

平成27年度全国学力

・小学校の質問紙からは昨年と比較して家庭学習の習慣化が下降気味となっていますが、慣化が昨年より上回る結果となりました。さらに、中学校では、各教科とも大きく全道平均・国語や算数・数学の学習は「大切、将来役に立つ」と考える児童生徒の割合は高いもの。教育委員会では「早寝・早起き・朝ごはん」運動を積極的に推進するための条例の制定携し、取り組みをさらに進めていきます。また、各学校においては、学校の課題に応じた

調査の概要

○町内全小学6年生、中学3年生の児童生徒を対象に実施(小学校5校 107名、中学校4校 107名)
○ほかに生活習慣、学習環境等に関する質問紙調査を行った(児童生徒に対する調査、学校に対する調査)

A問題(知識に関する問題 全32問)
◆全道平均正答数と比較すると一人当たり1.2問多い
◆32問中26問全道平均を上回っている
◆話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと・言語についての知識理解技能の領域すべて全道平均を上回っている
◆文書を書くために必要な漢字を書く、語句の意味を理解し、適切に使う設問の正答率が低い

中学校国語

B問題(活用に関する問題 全9問)
◆全道平均正答数と比較すると一人当たり0.4問多い
◆9問中8問全道平均を上回っている
◆話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと・言語の知識理解の領域すべて全道平均を上回っている
◆要旨を捉えて伝えるように自分の考えを書く記述式の正答率が低い

A問題(知識に関する問題 全36問)
◆全道平均正答数と比較すると一人当たり1問多い
◆36問中27問全道平均を上回っている
◆数と式、図形、関数、資料の活用の領域すべて全道を上回っている
◆数量関係を文字式に表したり、証明の意味の理解の正答率が低い

中学校数学

B問題(活用に関する問題 全15問)
◆全道平均正答数と比較すると一人当たり0.5問多い
◆15問中11問全道平均を上回っている
◆数と式、図形、関数、資料の活用の領域すべて全道を上回っている
◆数学的に考え、その理解や求め方を説明する記述式の正答率が低い

中学校理科

(全25問)
◆全道平均正答数と比較すると一人当たり1.3問多い
◆25問中22問全道平均を上回っている
◆物理的領域、化学的領域、生物的領域、地学的領域のすべてが全道を上回っている
◆科学的な根拠を基にして事象について説明する記述式の正答率が低い



生活の様子(中学校生徒質問紙の分析結果)

★家庭生活に関する質問★

平日1日あたり3時間以上テレビやビデオ、DVDを見る生徒の割合→**38.3%**(全道32.3%・全国30.5%)
平日1日あたり3時間以上ゲームをする生徒の割合→**24.3%**(全道24.5%・全国20.5%)
平日1日あたり1時間以上携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする生徒の割合→**46.8%**(全道51.4%・全国47.6%) ※3時間以上→**24.3%**(全道24.5%・全国20.5%)
平日1日あたり1時間以上勉強する生徒の割合→**54.3%**(全道63.0%・全国69.0%)
" 2時間以上 " →**19.7%**(全道30.7%・全国35.7%)
" 3時間以上 " →**4.7%**(全道8.4%・全国10.4%)
" まったく勉強しない " →**12.1%**(全道7.2%・全国5.3%)
土・日 まったく勉強しない →**12.1%**(全道11.8%・全国10.6%)

学習状況調査結果報告

生活習慣が課題!!

中学校の質問紙からはテレビ・ゲーム・スマートフォンの使用時間が減り家庭学習の習均を上回る結果となっています。の、「好き、分かる」という児童生徒の割合は低い結果となりました。に向け、検討を進めています。よりよい生活習慣が身につくよう家庭や地域・学校と連改善プランを策定し、教職員一丸となった学力向上に向けた取り組みを進めています。

○国語、算数・数学、理科の3教科を出題 ○平成27年4月21日実施
○主に「知識」に関するA問題と、「活用」(知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力など)に関するB問題を出題

A問題(知識に関する問題 全14問)
◆全道平均正答数と比較すると一人当たり1.7問少ない
◆全14問で全道平均を下回っている
◆話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと・言語の知識理解の領域すべてが全道を下回っている
◆文書を読み書きするのに必要な漢字の読み書きの正答率が低い

小学校国語

B問題(活用に関する問題 全9問)
◆全道平均正答数と比較すると一人当たり1.1問少ない
◆全9問で全道平均を下回っている
◆話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと・言語の知識理解の領域において全道平均を下回っている
◆自分の考えを書く記述式の正答率が低い

A問題(知識に関する問題 全16問)
◆全道平均正答数と比較すると一人当たり2.1問少ない
◆16問中1問全道平均を上回っている
◆数と計算、量と測定、図形、数量関係の領域で全道を下回っている
特に図形の理解度が低い

小学校算数

B問題(活用に関する問題 全13問)
◆全道平均正答数と比較すると一人当たり1問少ない
◆13問中1問全道平均を上回っている
◆数学的な考え方、数量や図形についての技能、数量や図形についての知識理解の領域すべてが全道を下回っている
◆記述式の正答率が低い

(全24問)
◆全道平均正答数と比較すると一人当たり1.3問少ない
◆24問中3問全道平均を上回っている
◆物質分野、エネルギー分野、生命分野、地球分野の領域すべてが全道を下回っている
◆科学的に考え理由を書く記述式の正答率が低い

小学校理科



生活の様子(小学校児童質問紙の分析結果)

★家庭生活に関する質問★

平日1日あたり3時間以上テレビやビデオ、DVDを見る児童の割合→**42.5%**(全道39.6%・全国36.1%)
平日1日あたり3時間以上ゲームをする児童の割合→**28.3%**(全道22.6%・全国17.0%)
平日1日あたり1時間以上携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする児童の割合→**25.5%**(全道21.0%・全国16.9%) ※3時間以上→**10.4%**(全道7.7%・全国5.7%)
平日1日あたり1時間以上勉強する児童の割合→**49.1%**(全道54.6%・全国62.7%)
" 2時間以上 " →**10.4%**(全道17.7%・全国25.7%)
" 3時間以上 " →**4.7%**(全道6.1%・全国11.1%)
" まったく勉強しない " →**3.8%**(全道3.0%・全国3.0%)
土・日 まったく勉強しない →**11.3%**(全道9.0%・全国10.2%)